

事業名称		達成状況の評価	
事業名	新県立4年制大学施設整備事業	A	
整理番号	26-4	目標を完全に達成した。(達成割合100%)	
事業の種類	建築物の新築又は増築		
市町村名	長野市	配慮した項目 52	
箇所名	長野市立後町小学校跡地(長野市南長野603)	= 100%	
事業年度	平成28年度～平成29年度	配慮する全項目 52	
事業概要			
目的	平成30年4月の開学を目標とする新県立4年制大学施設の整備に関し、教育寮等を新築する。		
事業概要	教育寮等の新築 約 6,400㎡		
関連する事業計画	新県立4年制大学施設整備事業(校舎等) (長野市、平成27年度～平成30年度)		
その他特記事項	特になし。		
関係法令等の規制			
自然環境保全地域等の指定状況	なし。		
土地利用規制の状況	都市計画法の用途地域(商業地域) 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地	都市計画法の市街化区域	
その他	都市計画法の準防火地域		
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)	
大気環境	【大気汚染の防止】		
	・資材等の運搬は、居住系地域に出来るだけ配慮し、交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	適正に実施	
	・集じん装置、有害物質処理装置等の設置を行い大気汚染の発生を防止する。	適正に実施	
	・有害物質の使用、保管等の管理を徹底する。	適正に実施	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	適正に実施	
	・防じんシートの設置を行い粉じんの飛散を防止する。	適正に実施	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施	
	【騒音、振動の防止】		
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	適正に実施	
	・著しい騒音、振動を発生する工法を低減する。	適正に実施	
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施	
	・防音壁、防音シート、遮音設備を設置し、騒音を低減する。	適正に実施	
	【悪臭の防止】		
	・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。	適正に実施	
	・悪臭原因物質の使用、保管等の管理を徹底する。	適正に実施	
	・建築物の機密性向上、出入り口の構造の工夫等により、悪臭の漏洩を防止する。	適正に実施	
	水環境	【水質汚濁の防止】	
		・土地の履歴調査により汚染物質の有無を把握する。	適正に実施
・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。		適正に実施	
・チェーンソーを使用する際は生分解性チェーンオイルを使用する。		適正に実施	
・地盤改良は適切な薬液を選定し、必要最低限の薬液注入範囲とする。		適正に実施	
・水の循環使用等により排出負荷を低減する。		適正に実施	
・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。		適正に実施	
【水循環の保全】			
・透水性舗装の導入や舗装面の削減、浸透側溝・浸透枡・芝舗装の導入等、雨水の地下浸透により水循環を保全する。		適正に実施	
・地下水・湧水を保全する。		適正に実施	
・地下水を使用しない又は使用量を削減する。		適正に実施	
・掘削や地下構造物の設置等により地下水の流動を阻害しないように努める。		適正に実施	

地形・地質	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・工法を選定する。	適正に実施
	・工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。	適正に実施
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施
	・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。	適正に実施
	・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	適正に実施
野生動植物	【地域独自の生物多様性の保全】	
	・表土を植生用客土として活用し、地域に調和した植栽・緑化を行う。	適正に実施
	【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】	
	・自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。	適正に実施
景観	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	適正に実施
	【良好な景観の育成】	
	・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	適正に実施
	・敷地内の緑化に配慮する。	適正に実施
自然とのふれあい	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・自然とのふれあいの場に配慮する。	適正に実施
	【自然とのふれあい空間の創出】	
	・敷地内の緑化に配慮する。	適正に実施
文化財等	【文化財等への配慮】	
	・埋蔵文化財発掘調査の状況に配慮する。	適正に実施
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施
	・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。	適正に実施
	・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	適正に実施
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施
	【エネルギーの有効利用】	
	・施設の建設にあたっては温室効果ガス削減に努めた計画とする。	適正に実施
	・地熱、太陽光、バイオマス等の自然エネルギーや雨水、廃熱等の有効利用に努める。	当初計画より予定なし デジタルサイネージによりエネルギー消費量等の見える化を図った
	・LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。	適正に実施
	・建築物の断熱化に努める。	適正に実施

日照障害・ 電波障害・ 光害	【日照障害への配慮】	
	・日照障害が生じないように施設の配置や構造、形状等に配慮する。	適正に実施
	【電波障害への配慮】	
	・電波障害が予測される場合は、電波吸収材や反射材の使用による反射障害や遮へい障害の防止又は代替措置を検討する。	適正に実施
【電波障害への配慮】		
・照明の設置にあたっては照明の範囲、時間、照度、光源種類などに配慮し、周辺的生活環境等への悪影響を低減する。	適正に実施	